

いわき市感染症発生動向調査

令和8年第27週(6月29日～7月5日)

○定点把握対象疾患(報告数が多い上位3疾患)

順位	疾患名	定点あたり患者報告数	最近の傾向(過去2週間との比較)
1	新型コロナウイルス感染症	3.44	増加
2	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.20	増加
3	咽頭結膜熱	1.40	増加
3	感染性胃腸炎	1.40	減少

※その他の定点把握対象疾患の報告数については、福島県感染症発生動向調査報告(ホームページ内リンクあり)からご確認ください。

○今週のトピックス

◆新型コロナウイルス感染症に注意◆

- ◆国・県ともに増加傾向にあり、いわき市も3週連続で増加しています。
 ◆5類移行後も新型コロナウイルスの感染力や病原性は変わっていません。
 ◆高齢者や基礎疾患のある方が感染すると重症化リスクが高まります。
 通院や高齢者施設を訪問する場合には、マスクの着用等、
感染予防対策を心がけましょう。



【新型コロナウイルス感染症について】
市ホームページ



感染対策のポイント



夏にかけて流行る感染症

◆夏のかぜに注意◆



夏かぜの代表として、手足口病、ヘルパンギーナ、プール熱(咽頭結膜熱)があります。
 子どもの間で流行ることが多いですが、大人もかからないわけではありません。



【夏の感染症対策!】
市ホームページ

手足口病



【主な症状】
 ・発熱・咽頭痛
 ・手のひら、足の裏、口の中に発疹

ヘルパンギーナ



・高熱・咽頭痛
 ・口の中の粘膜に発疹

プール熱
(咽頭結膜炎)

・高熱・咽頭炎
 ・結膜炎・腹痛
 ・下痢

いずれもワクチンがなく、ウイルス性で抗菌薬が効きません。
 感染者との濃厚な接触・タオルの共有を避け、手洗い・うがいを徹底しましょう。